



(左上) 地下街からアクセスした人を迎えるイベントスペース (右上) 基準階執務室に設けられたシステム天井用照明器具
(左下) 7階屋上広場では壁面緑化をライトアップ (右下) シアター形式で594席が利用できる中日ホール

中日ビル

多彩な機能や用途の集積により にぎわいと交流・発信を創出

名古屋市の中心部・栄のランドマークとして半世紀以上にわたって市民に親しまれてきた中日ビルが2019年に閉館。商業施設や交流施設、ホールに加え、オフィスやホテルも備えた地下5階・地上33階建の複合ビルとして2024年4月に新たに開業。当社の照明が全面的に採用された。地下1～地上5階は飲食や物販店舗。地下1階は地下街と接続されており4層吹き抜けのイベントスペースも設けられている。5階には1道14県の道県事務所が集積する「全国物産観光センター」が各地の名産品や観光名所を紹介。6階は

多目的ホールと大小8室の会議室からなる「中日ホール&カンファレンス」で、移動観覧席を備えたホールには、本格的な演出システムも装備されている。7階屋上には屋上広場を配置し、壁面緑化を施して緑化景観の創造と熱負荷低減を実現している。9～22階はワンフロア約700坪の貸室面積のオフィスフロア。24～32階が「ザ ロイヤルパークホテル アイコニック 名古屋」となっている。「次の半世紀、さらにはその先も多くの人が集い楽しめる場となるよう、環境配慮から交流・発信までさまざまな要素を取り込んだ。この施設をぜひ体感していただきたい」と中日ビル 常務取締役 富田恭次氏は語る。



中日ビル

所在地／愛知県名古屋市中区栄
 建築主／中部日本ビルディング株式会社
 設計／株式会社竹中工務店
 建設工事／株式会社竹中工務店
 電気工事／株式会社きんでん、株式会社トーエネック、ダイダン株式会社
 開業／2024年4月
 規模／地下5階・地上33階・塔屋1階建(延床面積:約117,300m²)



一体型LEDベースライト「sBシリーズ」で構成された6階中日ホールロビーの「ポリゴン天井」



全国物産観光センター(5階)



同じ「sBシリーズ」が異なる印象を与えている16階のオフィスラウンジ



グレアレスダウンライトで落ち着いた雰囲気2階オフィスエントランス



モニタに映し出された野球中継を見ながら食事ができる3階「starcat SAKAE FAN SQUARE」



1階の商業施設から24階のホテルロビーにアクセスする、西側ホテルエントランス

中日ビル

32F	ザ ロイヤルパークホテル アイコニック 名古屋	
24F		
22F	オフィス	
9F		
7F		屋上広場
6F		レストラン
5F	中日ホール & カンファレンス	
4F	全国物産観光センター	中日文化センター 栄
3F	医療モール、ショップ、郵便局	
2F	ショップ & レストラン	
1F	ショップ & レストラン / イベントスペース	
B1	地下駐車場	
B2		
B3		

主な納入設備

- LED照明器具
- 照明制御システム「FreeFit MX」
- 入室管理システム
- 非常放送システム
- 監視カメラ
- 映像装置
- 音響スピーカー